



音楽



国	籍	フィリピン
職	種	塗装
実習実施者		株式会社アクティオ
監理団体		—

ピトゴ チャールス キム ランパウグ
PITOGO CHARLES KIM LAMPAUG

私は音楽を聴くのが大好きです。音楽を聴くたびにリラックスできます。私はどこに行くにも必ずイヤホンを持って音楽を聴きます。音楽を聴くのが大好きなので、高価なイヤホンを買いました。購入したイヤホンにはノイズキャンセリング機能が付いているので、音楽を聴いていると外の騒音は聞こえません。まるで別世界にいるような気分になります。高価なイヤホンを買ったことを後悔していませんでした。

さまざまなジャンルの音楽を聴きます。最近では日本の音楽を聴いています。歌詞が分からなくても、聴いています。私が日本の音楽を聴く理由は、日本の歌を歌いたいからです。私はカラオケをするのが好きです。もう一つの理由は日本語を勉強したいから、日本曲を聴けば勉強にもなると思います。

幸せなときは、明るい音楽を聴きます。明るい曲を聴くともっと幸せになります。明るい曲を聴くと踊りたくなります。人生最高の日のようだ。でも悲しいときは悲しい曲を聴きます。なぜだろう？ちょっとおかしいよね？もう悲しいのに、悲しい曲を聴くとさらに悲しくなってしまういませんか？悲しいときは悲しい曲ではなく

明るい曲を聴くべきではないか？

ネットで調べて悲しいときに悲しい曲を聴くと懐かしさや安心感、優しい気持ちを感じることができ、自分の心境や精神に近い曲を聴くと精神が安定するそうです。確かに、悲しいときに明るい音楽を聴くのは似合わないと思います。どんなに明るい曲でも、自分が困難な状況にあると、その曲を聴くのは辛いだけになると思います。曲が悲しくなればなるほど、悲しみから癒されれると思います。

ビールを飲むことと悲しい曲を聴くことはほぼ同じです。苦しい世界で苦いビールを飲む。どんどん飲んでビールが更に美味しくなる。気分が変わっていく。前を向いて生き続ける。これを書いている間、音楽を聴いています。今は幸せだから、今のプレイリストは明るい曲です。皆さんも私と同じように明るい音楽を聴いていること願っています。